

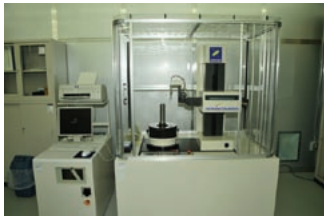
熊本県産業技術センター



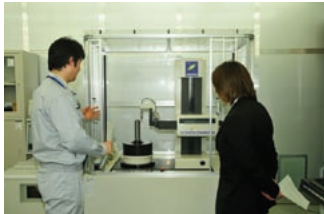
熊本県熊本市東町3-11-38



表面粗さ・輪郭形状測定機。



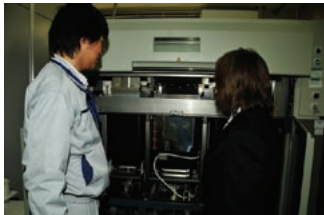
真円度・円筒形状測定機。



真円度・円筒形状測定機を見学する仲山選手。



ラビットプロトタイプングシステム。



ラビットプロトタイプングシステムの内部。



樹脂の粉を、レーザーで焼いて固めて製品を作ります。作られた製品。樹脂の粉の種類によって、強度を変える事が出来ます。



話を伺う仲山桂選手。



熊本県産業技術センターの河北隆生次長。

今月の訪問先は、熊本県産業技術センターです。同センターは、産業技術及び農林水産物の加工に関する研究開発、技術指導、依頼試験等の技術支援ならびに適正な計量の実施により、県内産業の振興を図ることを目的として熊本県が設置した機関です。県内企業の生産部門を支える「技術部」として、大学や産業支援機関と連携を図り「売れるものづくり」に向けて取り組んでいます。

平成23年3月に多様な人たちが集まりイノベーションを生む「技術交流拠点」を目指して、本館等がリニューアルオープンしました。また、有機薄膜技術分野の地域産学官共同研究、普及、促進のための技術支援拠点である「くまもと有機薄膜技術高度化支援センター」も併設されています。今回、この施設を見学したのは仲山桂選手。仲山選手は、選手以外にもご自分で

ザインした物を販売する会社を経営されていて、今回、見学されたことにより、相当インスパイアされたようです。また今回ご紹介する機器とは異なりますが、熊本の名産である球磨焼酎の酵母は、大半がこちらのセンターで開発されたそうです。では、競輪補助事業によって導入された機器をご紹介します。

まず、表面粗さ・輪郭形状測定機です。この装置は、高分解能で各種表面粗さを測定するとともに、二次元的な表面性状の評価をする、高精度の表面粗さ・輪郭形状測定機です。この装置を使う事で測定物の表面の粗さ、輪郭形状を測定する事によって製品が設計図面どおりできているか評価できるものです。同センターでは、現在、透明導電性ガラスの開発などに使用しています。真円度・円筒形状測定機も同じく、測定物の内外径の真円度・同心度等を測定するとともに、高精度真直送り機能により各

種の円筒形状(円筒度・真直度等)を測定する測定機です。こちらも同じく製品が設計図面どおりできているか評価し、製品化に大きく役立っているものです。

そして、ご自分でもデザイン物を制作している仲山選手がとても興味をもたれたのが、ラビットプロトタイプングシステムです。

高精度微細造形を可能とする粉末焼結積層方式を利用して、多様な樹脂材料による強度に優れた三次元形状部品などを作成することができる造形装置です。三次元CADデータをつかうことにより、一定の大きさ以内であれば、通常では出来ない製品もできるという優れモノです。各種成形品のモデル試作・評価や実際の三次元形状部品の試作・評価など金型による成形作業なしで可能になるので、試作行程の短縮が図られ、開発期間の短縮やコスト削減に大きく寄与できる装置です。

いずれの装置も、熊本県の中小企業の皆様にとっても利用されているものです。競輪は色々ところで、色々な方々のお役に立っている事がわかりますね。仲山選手のインタビュは32ページです。